生命機能学専攻

	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	単位
基幹科目	ゲノム科学特論	◎	○	○			2
	蛋白質科学特論	◎	○	○			2
	細胞生物学特論	◎	○	○			2
	生命システム科学特論	◎	○	○			2
	ゲノム工学特論	◎	○	○			2
	蛋白質工学特論	◎	○	○			2
	細胞工学特論	◎	○	○			2
	生命システム工学特論	◎	○	○			2
	基礎植物医科学特論	○	◎	◎			2
	応用植物医科学特論	○	◎	◎			2
	植物病先端研究特論	○	◎	◎			2
	植物総合診療科学特論	○	◎	◎			2
発展科目	バイオインフォマティクス特論	◎	○	○			2
	生体超分子構造学特論	◎	○	○			2
	生体分子設計特論	◎	○	○			2
	生体分子計測工学特論	◎	○	○			2
	細胞操作工学特論	◎	○	○			2
	細胞間コミュニケーション特論	◎	○	○			2
	画像工学特論1	◎	○	○			2
	画像工学特論2	◎	○	○			2
	分子シミュレーション特論	◎	○	○			2
	有機化学反応特論	◎	○	○			2
	有機合成化学特論	◎	○	○			2
	高分子物理化学特論	◎	○	○			2
	反応工学特論	◎	○	○			2
	環境科学特論	◎	○	○			2
	水環境工学特論	◎	○	○			2
	環境計測特論	◎	○	○			2
	環境衛生学特論	◎	○	○			2
	生物アシミレーション科学特論	◎	◎	○			2
	植物免疫分子システム学特論	◎	◎	○			2
	応用生物生態学特論	◎	◎	○			2
	植物病原学特論	◎	○	○			2
	植物薬学総合特論	◎	○	○			2
	土壌環境ゲノム科学特論	◎	○	○			2
	有用植物開発学特論	◎	○	○			2
研究実践科目	生命機能学演習1	○	◎	◎			2
	生命機能学演習2	○	◎	◎			2
	生命機能学特別研究1	○	◎	◎			3
	生命機能学特別研究2	○	◎	◎			3
	生命機能学特別実験1	○	◎	◎			2
	生命機能学特別実験2	○	◎	◎			2
	植物医科学演習1	○	◎	◎			2
	植物医科学演習2	○	◎	◎			2
	植物医科学特別研究1	○	◎	◎			3
	植物医科学特別研究2	○	◎	◎			3
	植物医科学特別実験1	○	◎	◎			2
	植物医科学特別実験2	○	◎	◎			2
博士後期課程	生命機能学発展ゼミナール	◎	◎	◎	◎	◎	2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	生命機能学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	生命機能学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	植物医科学発展ゼミナール	◎	◎	◎	◎	◎	2
	植物医科学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	植物医科学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	植物医科学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	植物医科学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	植物医科学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	植物医科学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	植物医科学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	植物医科学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2
	植物医科学発展特別研究1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各3
	植物医科学発展特別実験1･2･3	◎	◎	◎	◎	◎	各2

◎DP達成に特に重要、 ○DP達成に重要、 △DP達成のために望ましい

修士課程

DP1：高度な専門知識と技術を身に付けていること。

DP2：研究内容を自身の言葉で論理的に説明できる能力を身に付けていること。

DP3：真摯な態度で学術全体を俯瞰し、地球環境等に配慮できること。

博士課程

DP1：高度な専門知識と技術を身に付けていること。

DP2：研究内容を自身の言葉で論理的に説明できる能力を身に付けていること。

DP3：真摯な態度で学術全体を俯瞰し、地球環境等に配慮できること。

DP4: 高度な研究企画力

DP5; 自立して研究・開発を実践でき、技術者・研究者として活動できる。